

## (福) ケアハウス信愛館

◆「暑さ寒さも彼岸まで」のことわざ通りに、彼岸花が咲き、虫の鳴き声も聞こえてくるようになり、夏の暑さはいつまでと思っていました。夏はいつまでか秋の風情になりました。

◆九月八日(土)「カラオケの会」を行いました。しばらく休んでいたのですが、久しぶりに楽しい時間を過ごしました。歌われた曲も色々で演歌から始まり童謡唱歌、フォークソングなどを歌われ、最後に全員で「琵琶湖周航の歌」を歌いました。今後とも定期的に行う予定です。皆様の参加をお待ちしています。

◆九月十九日(水)「敬老会」を行いました。松島信子様、西田八重様、寺澤美津子様に歌唱、リコーダー、よし笛、ピアノなどを演奏していただきました。二重唱から始まり「秋の子」「椰子の実」「殖生の宿」などを歌われましたが、歌曲の作られた背景も説明していただいたので、知ってはいても

また違った趣を感じながら聞き入りまし

た。よし笛、リコーダーと演奏が続き、「ふるさと」「夏の思い出」を全員で歌い、次の「ぞうさん」「ト

ロイカ」はジャズアレンジでピアノ演奏され、童謡やロシア民謡がまったく別の曲にも聴こえ入居者

皆様も新鮮な驚きを感じられたことでしょう。最後に箏曲「春の海」を珍しくピアノ連弾で演奏され、様々なアレンジでの楽曲を鑑賞することができた「敬老会」でした。

◆九月二十三日(日)「秋月照覧会」が午後六時十五分から二階集會室で行われました。

まずETVで放送された「月の不思議を巡る旅」をビデオで鑑賞、イースターや過越祭も月の満ち欠けに由来していることが



よく理解できました。続いて恒例のビンゴゲームに移りました。やり方は皆様よくご存知ですが、なかなか思い通りに数字は出てくれないもの。イライラ、焦ったりしながら、また迷いながら景品を選んだりしている間に全員が上がりとなりました。この日はあいにくの曇り空。わずかに雲間から満月がのぞくだけで、お月見はまたの楽しみにして行事を終えました。